

2. 不思議な岬の自然を見に行こう

大瀬崎コース (約2.2km)

学習テーマ



大瀬崎は伊豆半島北西岸に位置し、駿河湾に突き出た約1kmほどの砂嘴と呼ばれる小さな岬です。岬全体が大瀬神社の境内地であり、手つかずの自然が大切に守られてきました。砂嘴の地形、ビャクシンの巨木の森、淡水の神池など、不思議なものがたくさん見られるほか、駿河湾の海や美しい富士山の景色も楽しむことができます。また、内湾の海の水はとてもきれいで透明度が高いため、いろいろな海の生きものを観察することができます。

沼津市



START

大瀬崎 有料駐車場

1 大瀬海水浴場

岬の東側にある内湾は、海水浴場とダイビングスポットになっています。水の透明度も高いため、いろいろな海の生きものが観察できます。

2 岬の西側

岬の西側は、大人の頭より大きな丸い石がたくさん転がっています。これは、激しい波と風により、石が削られて丸くなり、積み上がったものと考えられます。

3 大瀬神社

駿河湾の漁民の信仰の象徴である大瀬神社は、海の守護神として知られています。社殿は岬の中でも最も高い所にあり、その脇からは駿河湾と富士山が望めます。

4 神池

岬の先端部にある神池は、まわりが海に囲まれているのにも関わらず、淡水であることから「伊豆の七不思議」のひとつになっています。池にはコイやフナが見られ、池の周辺には貴重種であるテツホシダの群落を観察できます。

5 大瀬崎灯台

岬の先端には大瀬崎灯台があり、海岸から駿河湾越しに富士山や箱根方面が望めます。

6 ビャクシン樹林

大瀬崎には全部で110本以上のビャクシンがありますが、自然林でこれほど群生している場所は全国的にも珍しいとされています。昭和7年(1932)には国の天然記念物に指定されています。森の中でも特に大きい御神木のビャクシンは樹齢1,500年と推定されています。



GOAL

大瀬崎 有料駐車場



砂嘴地形を調べてみよう!

海流や波によって運ばれた砂や石が、海岸から細長く堆積してできた地形を「砂嘴」といいます。

まずは地図で大瀬崎の形や付近の海流の流れを調べてみましょう。それから実際に現地へ行き、海岸の石の様子を観察してみましょう。岬の西側は、駿河湾を北上する強い海流や吹き荒れる西風と荒波で大きな礫が堆積し、波の静かな内湾側には砂が堆積して砂浜になったことが分かります。

また、昔はどんな地形だったか、地域の人に聞いてみましょう。大瀬崎の場合はその昔、「びわ島」と呼ばれる小島でしたが、大地震により陸続きになったという言い伝えが大瀬神社に残されています。



県道沿いの展望スポット (P5参照) から眺めた大瀬崎全体の様子

ビャクシンの葉や幹を観察しよう!

ビャクシンの葉を観察してみましょう。同じ枝木にとがった針葉と滑らかな丸い鱗片葉の2種類が見られます。これは、若葉の時に他の生きものによって食べられるのを防ぐ役割があると考えられます。

また、ビャクシンは成長すると幹がねじれたように波打つのが大きな特徴であり、とても神秘的な雰囲気を出します。ねじれは方向は決まっているのか、なぜねじれるのかを考えてみましょう。



鱗片葉(左下)と針葉(右上)

ビャクシンの幹